

暮らしの通信

みんなが集まる素敵な場所へ

春の模様替えは キッチンから

家族が自然に集まる居心地よい空間。キッチンをそんな素敵な場所に変えるアイデアをご紹介します。



衣食住の「食」は、だんらんを中心。キッチンはそんな「食」の舞台となる大切な場所。今回は、居心地よく過ごせるキッチンについて、収納の目線で考えてみます。



**自然に人が集まる
開放的な空間作り**

かつては家事という「作業」を行う場として、閉鎖的なイメージもあったキッチンですが、昨今はもっぱら、ダイニングやリビングとの一体感を感じられる明るく開放的なスタイルがトレンドです。

開放感を感じさせるには、壁やカーテンの色はなるべく明るいものを選ぶこと。また、見通しをよくするためには、目につきやすい高い位置をスッキリさせることも大切です。収納はなるべく視線より低めの位置に設置しましょう。



**見た目に楽しい、
使って便利な収納を**

キッチンアイテムは、「見せる収納」を意識してみましょう。「見せる」といっても「飾る」ことを目的にするのではなく、実用性が大切。取り出しやすく使いやすい、オープンな食器棚は特におすすめです。棚や引き出しの奥にしまわれたまま、なかなか活躍しないアイテムも、こうしてお

けば毎日の暮らしにきちんと活かれます。また、見た目に楽しいおしゃれな調理器具は、そのままキッチンカウンターに出しておいても絵になります。思わず使ってみたくなる楽しい器具と手をのばせばすぐに使える機能的な収納。誰もが気軽に

に料理に参加したくなる雰囲気はこんなところから作られます。
機能的でキレイなキッチンなら、料理もぐっと楽しくなります。おしゃれなキッチンで、素敵なひとときをお楽しみください。



暮らしメモ

はじめて「見せる収納」に挑戦すると、「物が多くてごちゃごちゃしてしまった」という感想を持つ方も多いようです。ここでは、そんな「見せる収納」をすっきりさせるコツを紹介しましょう。

色使いや質感には統一感を

たとえば食器なら、同じ色、同じ素材などと、ある程度の統一感を持たせて分類し、いっしょに収納していきます。つい同じような「形」の食器をまとめてしまいがちですが、色や素材でまとめたほうが見た目にはスッキリします。

隠すもの、見せるもの

パッケージの派手な製品は、どこに置いて目立ってしまうので、自分のセンスに合う容器に移し換えましょう。たとえば調味料類なら買ってきた容器のまま使わないで、ガラス瓶などへ。インテリアのテイストに合わない小物は、いったんカゴや木箱に収納してから棚へしまえばスッキリします。

オープンな収納を行う際は、必ず防災についても考慮して、高いところに重いものや割れ物をしまわないのは鉄則です。



どうしてもテイストが合わないときは、カゴや木箱に「隠して」から「見せる」というのも1つの手です。